

石川県リハビリテーションセンターニュース

人にやさしいバリアフリー社会づくりの推進

誰もが安全で快適な生活を営み、あらゆる分野の活動に平等に参加できる障壁のない社会をめざす、バリアフリー社会づくりの推進に向け、リハビリテーションセンターにおいても具体的施策を実施しているところでありますが、今回はさらに知事の北欧諸国訪問の成果を踏まえた新たな取り組みを、次のとおりおすすめすることとしております。

1 バリアフリー技術交流事業

デンマーク・リーベ県テクニカルエイドセンターへ、リハビリテーションセンターの専門職員2名を派遣するほか、バリアフリーに関する研究情報の交換を行います。

2 自立生活訓練モデル事業

スウェーデンの自立生活訓練施設であるフレーズンダセンターの訓練プログラムをモデルに、車いすや電動車いすその他テクニカルエイドを有効に使用して、日常生活に復帰するための炊事、買い物、自動車運転などの自立訓練を、リハビリテーションセンターにおいて実施します。

3 地域テクニカルエイド推進事業

リハビリテーションセンターとのテレビ電話会議システムを活用して、最適な福祉用具の選定や活用方法、住宅改造の支援・指導を行う地域テクニカルエイドセンターを、能登北部保健所及び南加賀保健所内に開設し、高齢者及び障害者の在宅復帰、自立支援を促進するための専門的テクニカルエイド技術を提供するシステムを構築します。

両保健所には、在宅復帰シミュレーション装置や自立支援機器をユーザーが試することができるスペースが整備されるとともに、専門職員によるチーム訪問や、福祉用具の適合・評価などの相談に応じることができます。

4 バリアフリー対応型自動回転ドアの整備

リハビリテーションセンターの正面玄関に、出入口の幅が広く、ドアの回転スピードが状況に応じてコントロールされるなど安全性、快適性に配慮した、北陸初のスウェーデン製・バリアフリー対応型自動回転ドアを整備します。

最も新しいタイプのバリアフリー対応のモデル施設になります。

The surroundings make you disabled.

—— 環境がよければ、「障害」はなくなる ——

岸 谷 都

石川県は「バリアフリー社会の推進に関する条例」を制定し、本格的にさまざまな施策を実施しています。リハセンターでも、福祉用具（テクニカルエイド）の技術支援を主体に、デンマークのリーベ県テクニカルエイドセンターへの職員派遣、技術交流が展開されようとしています。

そこで、私は以前、スウェーデン・デンマークのバリアフリー事情視察の機会がありましたので、その時感じたことのいくつかについてご報告します。



スウェーデン・デンマークでは、駅のホームには階段の横にエレベーター、電車の乗降にも車椅子の方のリフターが設置され、市内バスのほとんどは低床バスが走り、特別というより、誰もが社会の一員として参加しているごく自然な営みが見えました。



スウェーデン国鉄の特急列車に乗った時、車椅子の男性が同乗し

ており、彼は出張帰りでしたが、介助するアシスタントが同行し、彼が下車した駅にはリフト付ワゴン車が迎えにきていました。

デンマークの高齢者住宅やデイサービスセンターでは、人が人として大事にされている思いを強く持ちました。そして、地域に住む人をその地域の担当者の裁量で処遇している現状を目にしました。これこそ地方分権の真の姿で、地域に住む人を地域の人が支えていました。

思いがけず89歳の男性の一人暮らしの部屋を訪ねました。きちんと整



頼まれた部屋で昼間はデイサービスで昼食をとり、現在はヘルパーを断っているけれど、いずれ必要であれば頼むつもりとっていました。この国では当たり前のことのようにですが、我々の国では、つつい世話をする立場からの一方通行になってしまいがちでしょうね。個人の意志を尊重する「自己決定権」という言葉は生きている

と感じました。

スウェーデンではストックホルムの日抜き通りにテクニカルエイドセンター（補助器具センター）があり北欧のすぐれた福祉機器が、使用用途に応じて分かり易く展示されていました。たまたま訪れていた車椅子の子供を連れた両親の様子を見て、以前リハセンターへ脳性麻痺の子にいい椅子がないかと訪ねてきたお母さんの姿が重まりました。

日本の支給制度では、欲しいもの、あるいは現場のスタッフが必要と考えたものがすぐに用意されず、さらに一定期間試してみるということも出来ません。

ストックホルムの親子は、まるでデパートで買い物するかのように自立機器を試していました。石川のお母さんは試す機会もないまま、リハセンターで紹介した椅子にひとめぼれで決めました。図らずもそれはデンマーク製でした。

北欧4カ国は、それぞれ、福祉機器の研究所をもち、機器の評価、情報収集に努めています。さらに各国が役割分担をして連携しています。例えばデンマークがベッド、スウェーデンが車椅子というように評価の分担が行われています。

また北欧の福祉機器を見て感じることは、機能ばかりでなくデザインにも優れています。どの機器も先のお母さんばかりではなく、私もひとめぼれでした。

障害のある人もない人も社会の一員であり、自分の居場所があるという実感を感じることのできる社会、疎外感のない社会が真のバリアフリー社会でしょう。

道路、交通、建築物のバリアー（障壁）を取り除くことは一つの手段にすぎず、「バリアフリー社会を実現する」ということはつきつめれば、男女差別、人権問題まで発展し、他人の価値観を尊重する成熟した大人の社会の実現ということになります。その理念を子供の頃から身につけてほしいと思います。「高齢者、障害者のために」と唱えている人は、自分は決してそうならないと思っているのではないのでしょうか。私は「自分のためにすることだ」ということに気付いて欲しい気持ちがますます強くなりました。

The surroundings make you disabled.

訳せば、「環境があなたを障害者にする」となります。つまり障害は環境と身体状態の関係でおこる出来事であり、環境を整備すれば障害はなくなると言えます。この言葉をデンマーク障害者研究所の壁のポスターで見つけた時、とても嬉しくなりました。これは是非帰ってからみんなに紹介しようと思いました。

誰もがあたりまえに社会参加することが普通のことであり、「障害を克服して普通校に喜びの入学」「障害に負けず資格取得」などがトピックスとならない日が一日も早く来ることを希望しています。



バリアフリー アイデアコンテスト

- 1 障害のある人や高齢者或いは介護者のニーズに応じたバリアフリー機器の研究開発を促進するため、医療・福祉施設の現場で働く職員や一般の方々からの「医療、福祉、介護機器」に関するアイデア提案を募集しました。
- 2 応募件数 54点（内訳・作品部門 製品や試作品 39点・アイデア部門15点）
- 3 応募のありました54点の提案につきましては、専門家やバリアフリー推進工房のスタッフによる審査を行い、可能性をひろげる創造性、実用性の高い提案について、次のとおり表彰しました。

【作品部門】

●優秀賞 5点

「バックオーバーライ」
「ミュージックブーメラン」, 「お月さま」 簡単スイッチ
「薬杯」
「外出用食事テーブル」, 「下肢を使った食食用装具」
「とまり木」 歩行器専用腰掛け

高本政則・山田 淳・塚谷 洋（一般・能美郡）
可長京子（石川整肢学園・作業療法士）
田中節子（済生会金沢病院・看護婦）
藤井信好（国立療養所医王病院・作業療法士）
今井章夫（国立金沢病院・理学療法士）

●開発奨励賞 1点

「楽ちんリフト」 段差解消機

大同工業(株)

●奨励賞 5点

「雪道でも滑らない脳卒中片マヒ用短下肢装具」
「簡単くつ紐」
「たべる君・たべるもん・きせ太君」 生活動作訓練器具
「フロント・ローラ」
「簡易型折りたたみカットアウトテーブル」

金沢義肢製作所・北陸電話工事(株)
佐々木弘之（石川整肢学園・理学療法士）
加藤哲也（石川整肢学園・作業療法士）
沢村泰弘（石川整肢学園・理学療法士）
与島秀則（(株)つくし工房）

●思いやり賞 8点

「室内移動用ミニ車椅子」
「歩行困難な小柄な人の為のポータブルトイレの工夫」
「自操車いすの傾斜地走行装置」
「母趾伸展用スイッチ」
「クッションチェア用台車（日よけ・オルゴール付）」
「車用坐位保持椅子」
「安定サドル」
「膝サポーター」

細川智美（津幡町保健管理センター・保健婦）
山本美栄子他鹿西町ヘルパー一同（鹿西町総合保健センター・ヘルパー）
小松徳二（一般・金沢市）
福井朱美（恵寿総合病院・作業療法士）
石川県立看護学校教材教具委員会
佐々木弘之（石川整肢学園・理学療法士）
曾山敏一（石川整肢学園・理学療法士）
三谷伊甲子（金沢大学医療技術短期大学部・学生）

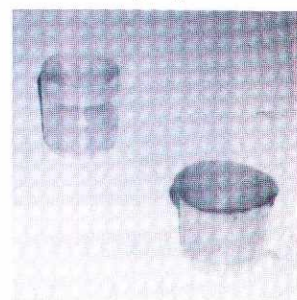
【アイデア部門】

●レインボー賞 3点

「高齢者・足腰の不自由な方専用入浴機器」
「らくちんシャワー」
「車いす用タイヤふきマット」

油納秀和（(株)ユニオン）
宇野親子（済生会金沢病院・看護婦）
荒木美帆（一般中学生・松任市）

薬 杯



段差解消
「楽ちんリフト」



お知らせ

—バリアフリー機器の試用貸し出し—

リハビリテーションセンターでは、バリアフリーをもっと手軽に体験できるように、いろいろなバリアフリー機器類を一時的に試用貸し出しいたします。

貸し出しは無料で、期間は1週間程度ですが、個人の方はリハビリ担当職員の助言指導がある場合に限りです。

バリアフリー社会づくり推進の啓蒙普及活動として行う団体の行事等に必要の場合や、病院・福祉施設などにおいて、自立支援機器の選定に迷っている場合にご利用ください。

貸し出し手続きなど詳しいことについては、リハビリテーションセンター庶務課へお問い合わせください。

【試用貸し出し機器の例】

電動車いす、スクーター、多機能車いす、歩行器、階段昇降機、段差解消機、ベッド周辺介助機器、コミュニケーション機器、入浴介助機器など

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター
〒920-03
金沢市赤上町=13-1
TEL (076) 266-2860
FAX (076) 266-2864
E-mail iprc@po.incl.or.jp